

1 単元名 Unit7 サンフランシスコの学校

2 単元目標

- 紹介文を積極的に書こうとしている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 語順と語法の知識を活用し、紹介文を正しく文を書くことができる。 (表現の能力)
- 英文を読み、その内容を理解することができる。 (理解の能力)
- 語順と語法を理解し、その知識を身に付けている。 (言語や文化についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1)単元観

中学校学習指導要領解説外国語編（平成20年9月）では、正しく文を書くことができないという課題から、「語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。」が新たな指導事項として加えられた。また、「正しく文を書く」とは、正しい語順と語法を用いて文を構成することと示された。本単元では、アメリカの中学校を紹介するビデオを作るという場面が設定されている。自己紹介で自分のことを英語で書き学習から、相手や身の回りのことを紹介文を正しく書くことで、多くのことを伝えることができるようになる。そこで、本単元を正しく文を書く力を育てる機会としたいと考える。

(2)生徒の実態（第1学年*組 男子*人 女子*人 計*人）

実態調査結果

課題：自分とベッキーの紹介文15分間で書こう。

- (1)語順を間違えた生徒数
 - ・「主語＋動詞」で構成されていない *人
 - ・単文の中に動詞が複数ある *人
- (2)語法を間違えた生徒数
 - ・3人称単数現在の文で動詞にsが付いていない *人
 - ・3人称単数現在でdon'tを使って否定文を作る *人
 - ・複数形の活用間違い *人
 - ・代名詞の活用間違い *人

意識調査結果

- (1)最も得意と感じる活動は何ですか。
 - 聞くこと *人 話すこと *人 読むこと *人 書くこと *人
- (2)最も不得意と感じている活動は何ですか。
 - 聞くこと *人 話すこと *人 読むこと *人 書くこと *人

実態調査から、構成要素が最も単純な「主語＋動詞」を理解していない、単文の中に動詞が複数あるなど語順に関してきちんと理解していない生徒が多いことが分かる。また、語法に関しては、3人称単数現在、複数形の活用、代名詞の活用に課題があることが分かる。意識調査からは、読むことを得意と感じている生徒が多い反面、書くことについて不得意意識を持っている生徒が多いので、読むことを手立てに正しく文を書く力を育てていきたいと考える。

(3)指導観

読むことを得意と感じている生徒が多いため、読むことと書くことを関連付けた学習活動の工夫を通して正しく文を書く力を育てたいと考える。そこで、聞こえてくる音声と同一の文が書かれたテキストを見て音読するパラレルリーディングを活動を手立てとして活用する。パラレルリーディングを行い、文字と発音を結びつけた後に、主語と動詞にマークを付け、そのマークから語順の理解を図りたい。また、テキストにのみ語順と語法の間違ひがあるパラレルリーディングを行い、語順と語法の間違ひの発見と修正から語順と語法の理解を図る。最後に正しい語順と語法を用いて、文を繰り返し書く活動を行うことにより、語順と語法の定着を図る。この一連の学習活動を通して、正しく文を書く力を育てていきたいと考える。

4 単元の指導計画及び評価規準

時	学習の内容	評価規準
1	<ul style="list-style-type: none"> ・語順を理解する活動を行う。 ・疑問詞whoを用いて会話活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の英文の主語と動詞を見つけ、語順を理解することができる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・語順を理解する活動を行う。 ・英文を音読し、内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の英文の主語と動詞を見つけ、語順を理解することができる。 ・英文を読み、内容を正しく理解することができる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・語順と語法を理解する活動を行う。 ・whatを用いて、会話をする。 ・英文を読み、内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の英文の語順と語法の知識を身に付けている。 ・英文を読み、内容を正しく理解することができる。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・パラレルリーディングを行う中で、語順と語法の間違ひの発見と修正を行い、正しく文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語順を理解し、正しく文を書くことができる。 ・語法を理解し、正しく文を書くことができる。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッキーを紹介する文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい語順と語法を用いて、紹介文を正しく書くことができる。 ・紹介文を積極的に書こうとしている。

5 本時の指導

(1)目標 語順と語法を理解し、正しく文を書くことができる。

(2)準備・資料

・語順ワークシート、語法ワークシート、語順・語法ワークシート

(3)展開

時間	活 動 内 容	指導上の留意点及び評価
3	1 英語であいさつをする。 2 本時の学習課題と目標を確認する。 正しく文を書こう。	<ul style="list-style-type: none"> ・元氣よくあいさつをし、既習の会話表現を復習する。 ・本時の学習課題と目標を伝え、見通しをもたせて学習に取り組ませる。 ・ただ文を書くのではなく、正しく文を書くことを伝えることにより、目的をはっきりと認識させたい。
42	3 語順の学習をする。 (1) 語順を理解する学習を行う。 ア パラレルリーディングを行い、主語と動詞にマークを付ける。 イ テキストにのみ語順の間違ひがあるパラレルリーディングを行う中で、語順の間違ひの発見と修正を行う。 ウ ペアで語順の間違ひの発見と修正を行う。 (2) 正しい語順を用いて、文を繰り返し書く。 4 語法の学習をする。 (1) 語法を理解する学習を行う。 ア パラレルリーディングを行い、主語と動詞にマークを付ける。 イ テキストにのみ語法の間違ひがあるパラレルリーディングを行う中で、語法の間違ひの発見と修正を行う。 ウ ペアで語法の間違ひの発見と修正を行う。 (2) 正しい語法を用いて、文を繰り返し書く。 5 語順と語法の学習をする。 (1) 語順と語法を理解する学習を行う。 ア パラレルリーディングを行い、主語と動詞にマークを付ける。 イ テキストにのみ語順と語法の間違ひがあるパラレルリーディングを行う中で、語順と語法の間違ひの発見と修正を行う。 ウ ペアで語順と語法の間違ひの発見と修正を行う。 (2) 正しい語順と語法を用いて、文を繰り返し書く。	<ul style="list-style-type: none"> ○上手く聞き取れない生徒が見られるときは、テキストを読むスピードをゆっくりにする。 ・聞こえてくる音声には正しい語順が使われていることと、テキストには間違った語順が使われた文があることを伝える。 ○つまづいている生徒に対しては、個別に指導をする。 ・繰り返し書くことで、定着を図る。 ・つまづいている生徒に対しては、日本語が書いてある語順ワークシートを活用するように助言する。 ・テキストには間違った語法が使われていることを伝える。 ・書いている文が間違っていないか、個別に確認する。 ・繰り返し書くことで、定着を図る。 ・つまづいている生徒に対しては、日本語が書かれているシートを活用するように助言する。 ・聞こえてくる音声には正しい語順と語法が使われていることと、テキストには間違った語法が使われていることを伝える。 ・正しい語順と語法で、文を書くことにより、定着を図る。 <p>評 語順と語法を理解し、正しく文を書くことができたか。</p>
5	6 本時で気付いたことを全体で確認する。 <予想される生徒の意見> ・一文の中に主語と動詞は一つずつしかない。 ・主語の後に動詞がくる。 ・be動詞と一般動詞はいっしょにならない。 ・主語が3人称単数の時は、動詞にsを付ける。 7 英語であいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習で気付いたことを全体で確認し、次時へとつなげる。 ○難しい用語で発表した生徒の意見については、分かりやすい言葉に変えさせることにより、理解しやすくなるようにする。 ・本時の取り組みを称賛し、意欲を高める。